行政改革大綱実施計画書

大綱主要項目		事務事業の効率化				
具体的な項目		地方公営企業の経営の健全化				
実施計画項目		下水道事業の健全経営の推進				
担当課		下水道課	関係課	水道課		
No. III-3-(2)		令和3	4	5	6	7
実施年度	実施計画	○	○	○	○	○
	効果又は数値目標	ストックマネジメント計画の履行 徴収率:97.4%	ストックマネジメント計画の履行 徴収率:97.5%	経営の健全化・効率化 民間委託の拡大 委託事務を整理し費用と効果を検討	経営の健全化・効率化 民間委託の拡大 委託業者の選定	経営の健全化・効率化 民間委託の拡大 民間事業者への委託開始
進捗状況	実績	A	A	A	A	
	効果又は数値実績	徴収率:97.3%	徴収率:97.2%	概ね計画どおりに順調に進行している。	概ね計画どおりに順調に進行している。	
現状と課題						
<p>早期の汚水処理計画区域の整備完了を目指し、未整備区域の解消を推進している一方で、施設の老朽化による改修、維持補修費の増大が見込まれている。</p> <p>また、人口減少等による使用料収入の拡大は期待することができず、財源を確保しつつ効率・効果的な施設整備を行っていく必要がある。</p> <p>令和2年3月31日現在の生活排水処理人口普及率は83.2%で、うち公共下水道・農業集落排水の普及率は69.2%となっている。</p>						
課題解決に向けた方策						
<p>下水道事業のサービスを持続的、安定的に市民に提供していくため、事業の健全経営に向けた取組が必要である。</p> <p>「公共下水道事業経営戦略」及び「農業集落排水事業経営戦略」に基づき健全経営を推進していく。また、使用料の賦課徴収事務の一部を民間委託事業者へ委託しているが、事務の効率化・コスト削減が可能な他事務についても整理し、民間事業者を活用することで効率的な運営に努め、窓口業務の改善等による市民サービス提供の向上を図る。</p>						
具体的な取組内容						
<p>【令和6年度】</p> <p>上下水道料金徴収業務委託の期間満了に併せ、入札により、令和7年度～9年度までの3年間の契約更新を行った。</p> <p>また、新たな取り組みとして、水道・下水道課で実施している工事受付、検査業務、埋設管等の閲覧業務などを集約し業務効率をあげるため、「上下水道お客様センター（現料金担当）」、「上下水道工事受付センター（新給排水工事受付、検査業務）」の設置準備を行った（令和7年4月開設）。</p>						
実績考察（理由、改善すべき点等）						
<p>【令和6年度】</p> <p>上下水道料金徴収業務において、入札により、適正な価格での契約更新を行った。今後は、さらなるサービスの向上を目指し、実施方法を検討していく。</p> <p>次年度より、新たに「給排水工事受付等業務、合併処理浄化槽事務補助」を加えることにより、業務の効率化と、人件費の削減を実現した。</p>						
考察を踏まえての今後の取組方針						
<p>【令和7年度以降】</p> <p>上下水道料金徴収業務委託について、今後は、費用対効果を考慮しながら、業務内容の見直しを行い、市民サービスの向上と下水道事業会計の経営の効率化を見据え、民間委託可能な業務について引き続き検討していく。</p>						